

議案第1号

文化財の県指定について

1 提案理由

平成31年1月16日に石川県文化財保護審議会から文化財の県指定について答申があったため

2 根拠法令等

石川県文化財保護条例（昭和32年石川県条例第41号）第4条第1項

3 諮問内容

有形文化財

種別	名称	員数	所在地	所有者
考古資料	堅田館跡出土品	732点	金沢市上安原南60番地 金沢市埋蔵文化財センター	金沢市

4 指定日

告示日

かたた やかたあと  
堅田館跡出土品

- |   |        |   |
|---|--------|---|
| 1 | 種別     | 有形文化財<br>(考古資料)   |
| 2 | 名称     | 堅田館跡出土品   |
| 3 | 員数     | 732点<br>(内訳別紙)  |
| 4 | 所在地    | 金沢市上安原南60番地<br>(金沢市埋蔵文化財センター)   |
| 5 | 所有者    | 金沢市   |
| 6 | 年代     | 鎌倉時代～室町時代   |
| 7 | 指定理由   | 鎌倉時代を中心とする時期の有力な地方武士の生活様式を知ることができる、全国でもきわめて希少な考古資料である。<br>(詳細は別紙のとおり) |
| 9 | 図面・写真等 | 別添のとおり  |

別紙（指定理由）

かたた やかたあと

## 堅田館跡出土品

堅田館跡は金沢市堅田町に所在し、市域の北部で、森下川流域の丘陵裾部に立地する、鎌倉時代から室町時代にかけての遺跡である。付近は加賀と越中を結ぶ古道が通る陸運と森下川と河北潟・日本海を結ぶ水運に恵まれた交通の要所であり、標高は約9 mである。

発掘調査は金沢市教育委員会により平成8年度から同11年度にかけて行われ、大規模な堀や多数の掘立柱建物跡、井戸跡等の遺構が確認された。山を背にして堀を巡らせて守りを固めた屋敷構えであり、交通の要所を掌握した有力な地方武士の居館と推定される貴重な調査事例である。

出土品は土器・陶磁器、木製品、石製品、金属製品で構成され、堀からを主体として多量に得られている。まず特筆すべきは木製品のうち、<sup>かんじょういた</sup>巻数板3点である。これは般若心経を墨書した長方形の板であり、巻数板1はスギ材で全長79.5 cmを測り、弘長3年（1263）の紀年がある。巻数板2は同スギ材、83.9 cm、建長3年（1251）である。これらはほぼ完存しており、古文献や絵巻物に記録されている、文字板を館の門前に吊り下げて安寧を祈念する年中行事が実在したことを裏付ける重要な出土品である。

伴出する土器・陶磁器には、青白磁<sup>めいびん</sup>梅瓶や青磁<sup>つき</sup>双魚<sup>てんもく</sup>文坏、天目碗といった舶載の高級品が含まれ、鎌倉時代を中心とする時期に位置付けられる。木製品には絵柄のある漆器、<sup>なりかぶら</sup>鳴鏑や乗馬鞍といった武具・馬具、羽子板や独楽といった遊戯具等が含まれる。こうした出土品は一般的な集落遺跡ではほとんど見られない。

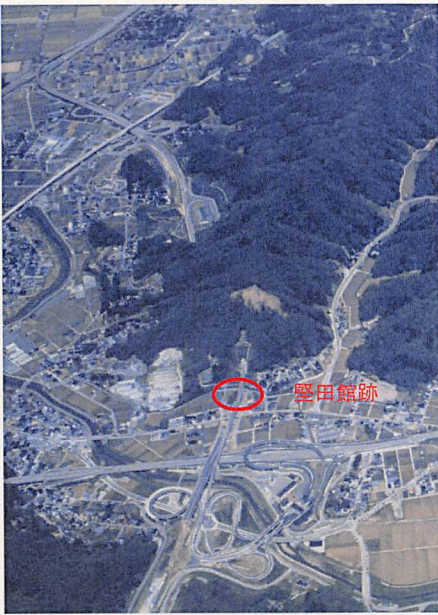
このように、堅田館跡出土品は、鎌倉時代を中心とする時期の有力な地方武士の生活様式を知ることができる全国でもきわめて希少な考古資料であり、有形文化財に指定して保存を図るものである。

## 別紙(出土品内訳)

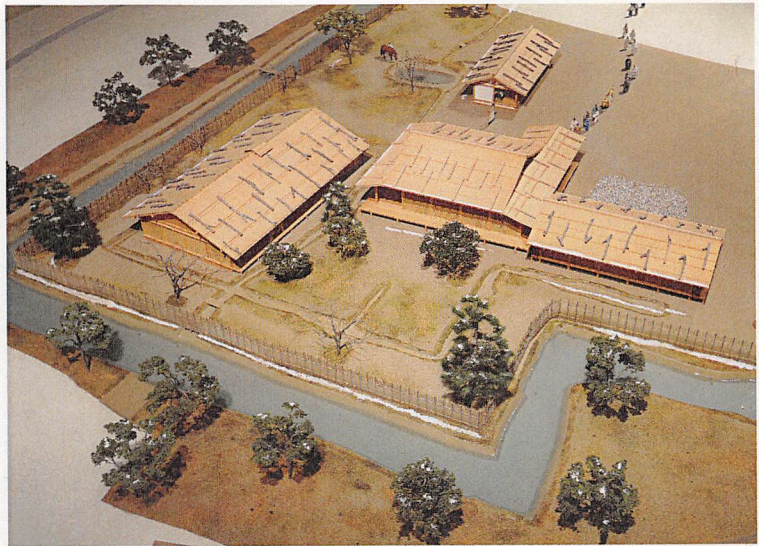
種別	細別	数量	備考
土器・陶磁器	土師器	416	皿など
	珠洲焼	13	甕、鉢、すり鉢
	越前焼	2	甕、鉢
	常滑焼	1	甕
	古瀬戸	14	平碗、すり鉢形小鉢、折縁小皿・中皿、卸皿、水注、小壺、香炉、入子
	山茶碗	3	碗、皿
	瓦質土器	2	碗
	瓦器	10	鍋、浅鉢、小型羽釜
	白磁	13	碗、小碗、皿、小皿、四耳壺
	青磁	23	碗、皿、坏、小盤、小碗、酒会壺など
	青白磁	10	梅瓶、小壺、合子蓋、小型蓋
	天目	2	碗
	土製品	2	鞆の羽口、土錘
	その他	1	羽釜
木製品	食膳具	116	箸、割物、杓子、椀(漆塗)、皿(漆塗)、三足盤(漆塗)、曲物など
	調理具	1	播粉木
	信仰具	8	人形、舟形、陽物
	遊戯具	3	独楽、羽子板
	生産具	2	竪杵、鋤
	履物	7	下駄、草履芯
	武具	1	鳴鏑(漆塗)
	馬具	1	乗馬鞍
	木簡	23	巻数(勸請)板、卒塔婆、転読札など
	その他	2	飾り板、団扇
	金属製品	調理具	1
貯蔵具		1	小壺
暖房具		3	火箸
建材		6	飾金具、鋳
古銭		21	北宋銭など
その他		2	鈴、加工材
石製品	調理具	1	鍋
	暖房具	2	温石、行火
	文房具	1	硯
	遊戯具	1	碁石
	その他	10	砥石、火打ち石、漆付着品
その他	その他	7	漆紙(文書)
総数		732	



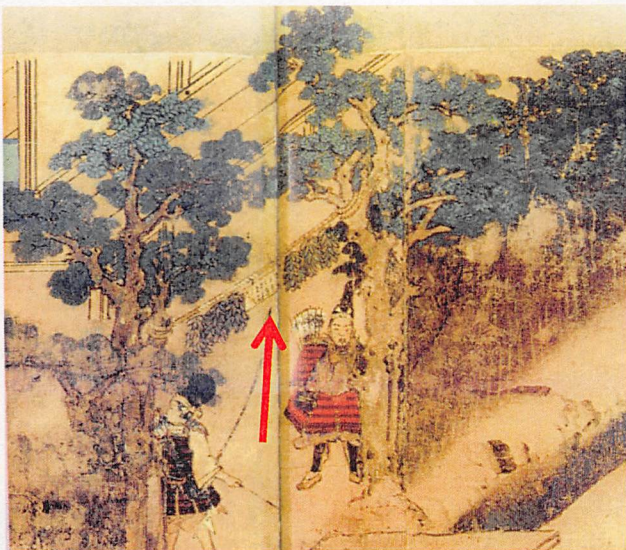
堅田館跡の位置



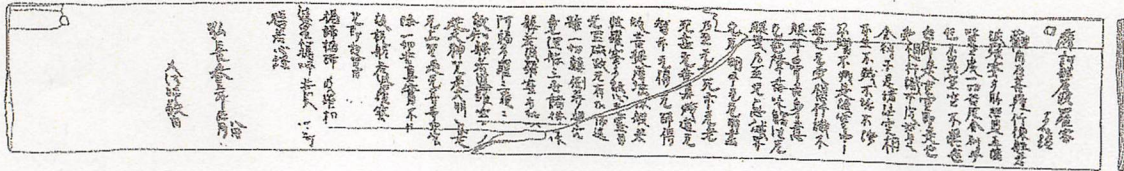
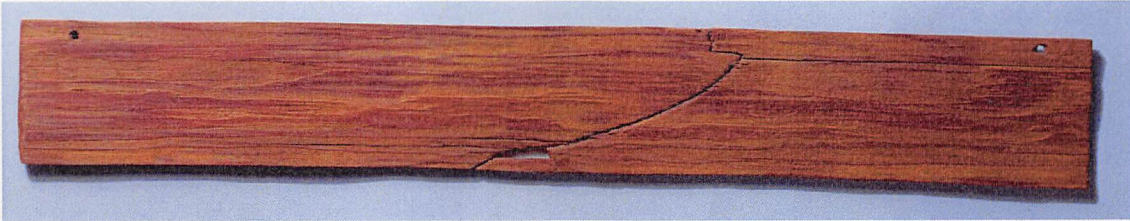
堅田館跡遠景



堅田館跡復元模型



絵巻物に見られる巻数板  
(法然上人絵伝 14世紀)



一摩訶般若波羅密  
 觀自在菩薩行深般若  
 波羅密多時見五寶  
 皆說一切世間有刹土  
 色不異於淨土色  
 色即是空即非色  
 受想行識亦復如是  
 舍利子諸法空相  
 不生不滅不增不減  
 不變不異如如不動  
 無色無聲無香無味  
 無觸無受無想無識  
 無智亦無知亦無見  
 無聞無覺無知無覺  
 無智無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞

長 79.5 cm 幅 11.0 cm 厚 0.7 cm 樹種スギ

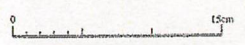
堅田館跡出土品 (卷数板 1)



一摩訶般若波羅密  
 觀自在菩薩行深般若  
 波羅密多時見五寶  
 皆說一切世間有刹土  
 色不異於淨土色  
 色即是空即非色  
 受想行識亦復如是  
 舍利子諸法空相  
 不生不滅不增不減  
 不變不異如如不動  
 無色無聲無香無味  
 無觸無受無想無識  
 無智亦無知亦無見  
 無聞無覺無知無覺  
 無智無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞  
 無覺無知亦無見無聞

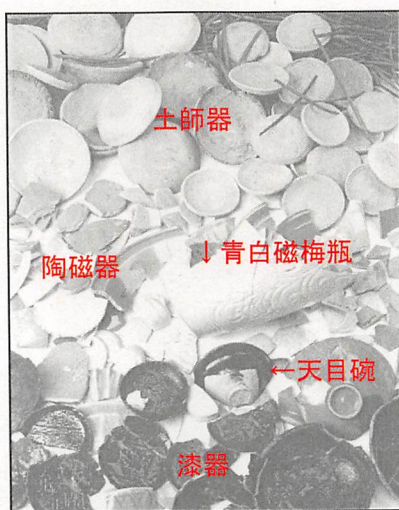
長 83.9 cm 幅 16.0 cm 厚 0.8 cm 樹種スギ

堅田館跡出土品 (卷数板 2)





堅田館跡出土品（土器・陶磁器など）



（見取図）



堅田館跡出土品（木製品 1）



（見取図）





堅田館跡出土品（木製品 2）



（見取図）